

[2013]九州大学情報統括本部年報 : 2013年度

<https://doi.org/10.15017/1559839>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2013, pp.1-, 2014. 九州大学情報統括本部
バージョン :
権利関係 :



2013年度年報の発行にあたって

情報統括本部長 藤村 直美

情報統括本部は、九州大学の全構成員（教職員と学生）に教育・研究・診療・業務に必要な情報基盤（インフラ）と各種情報サービスを提供することを目的とし、情報基盤研究開発センター、情報システム部、および附属図書館の3つの部局を中心に、全学的な組織として2007年度に発足し、7年が経過しました。情報統括本部自体は仮想的な組織ですが、必要に応じて全学からの幅広い協力を得ながら、幅広く活動を行っています。

情報統括本部はこれまで通り、無線LAN（kitenet、edunet）の運用、ソフトウェアの一括契約、侵入検知装置やファイアウォールの運用などに加えて、2013年度には、その他の重要なサービスに関わる大幅な更新を行いました。具体的には、ネットワーク構成の変更、認証システムやメールサーバ、教育情報システム、遠隔講義・会議システムの更新などです。特に認証基盤の更新は、信頼性と安定性を大幅に改善し、さらにこれまでの懸案であったライフサイクル処理を正しく行なえるようになりました。ファイル共有システムも新しいサービスを開始しました。また学務部や教材開発センターと連携して、学生PC必携化の推進にも引き続き力を注いでいます。

本報告は、2013年度の情報統括本部の主な活動を報告するとともに、将来のサービス向上に向けての方針や方向性を学内外の利用者に周知することを目的としています。学内外の利用者の視点に立って、新しい技術を取り入れつつ、安全・安心に、安定して、使い易い情報サービスを提供するためにも、利用者各位の忌憚のないご意見やご要望をいただければ幸いです。